

YAMAHA

PortaSound

MK-100

取扱説明書

各部の名称と その機能

メロディープラス (5ページ)

オートベースコード使用時のメロディーに、デュエットなら1音、トリオなら2音、コード音が加わり、厚みのあるサウンドが得られます。不要のときはOFFに。

ステレオ・シンフォニック (2ページ)

モノラル→ステレオの切換えスイッチで、コーラス・トレモロの効果をかけることができます。

トランスポーザー

半音ずつ、上下にそれぞれ一 octave まで、キーを変えることができます。伴奏をするとき、歌う人高さに調節できます。また、位置を移動し、やさしいハ長調などでいろいろな曲が楽しめます。

スピーカー

マスターボリューム

[全体の音量を調節するレバーです。]

オートベースコード (4~5ページ)

オートベースコードボリューム

[自動伴奏の音量を調節するレバーです。]

ベース(リズム)バリエーション

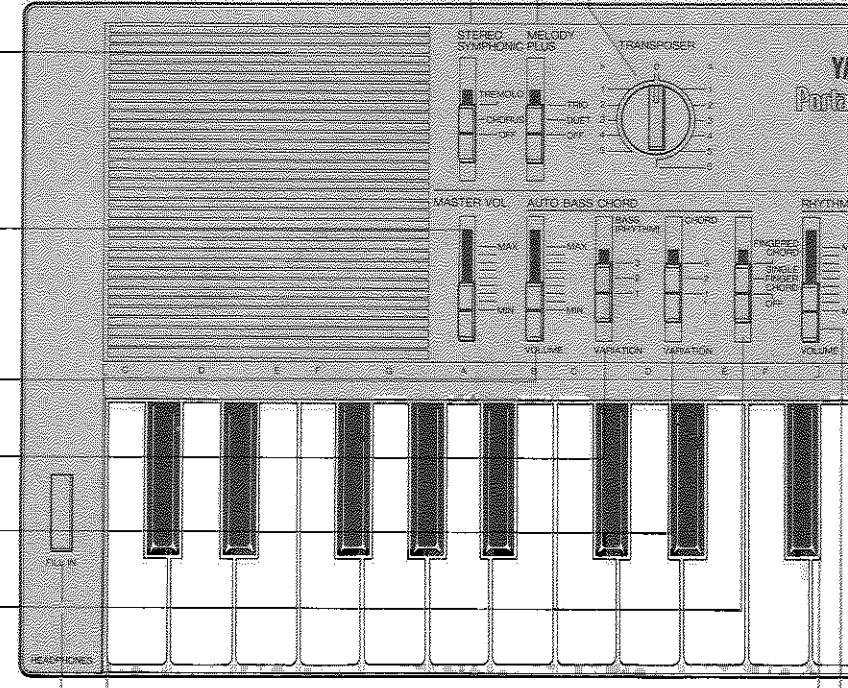
[ベースおよびリズムパターンの種類を選びます。]

コードバリエーション

[コード伴奏のパターンの種類を選びます。]

オートベースコードスイッチ

自動伴奏をする時、指1本のシングルフィンガーコードか、和音を押さえるフィンガードコードを選ぶスイッチです。不要の時はOFFに。



オートベースコード用鍵盤部

[自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。]

フィルイン

[一時的にリズムを変化させるフィルインを使用する時押します。]

リズム用音量レバー

[リズム音の音量を調節するレバーです。]

テンポコントロール

[リズムのテンポを調節し

マルチメニュー (6~19ページ)

マルチメニュー オン/オフスイッチ

マルチメニューを使用する際に押します。もう一度押すと解除されます。

コントロールボタン

メニューの内容により、選択・キャンセルしたり、リズムなどを設定するボタンです。

メニューパネル

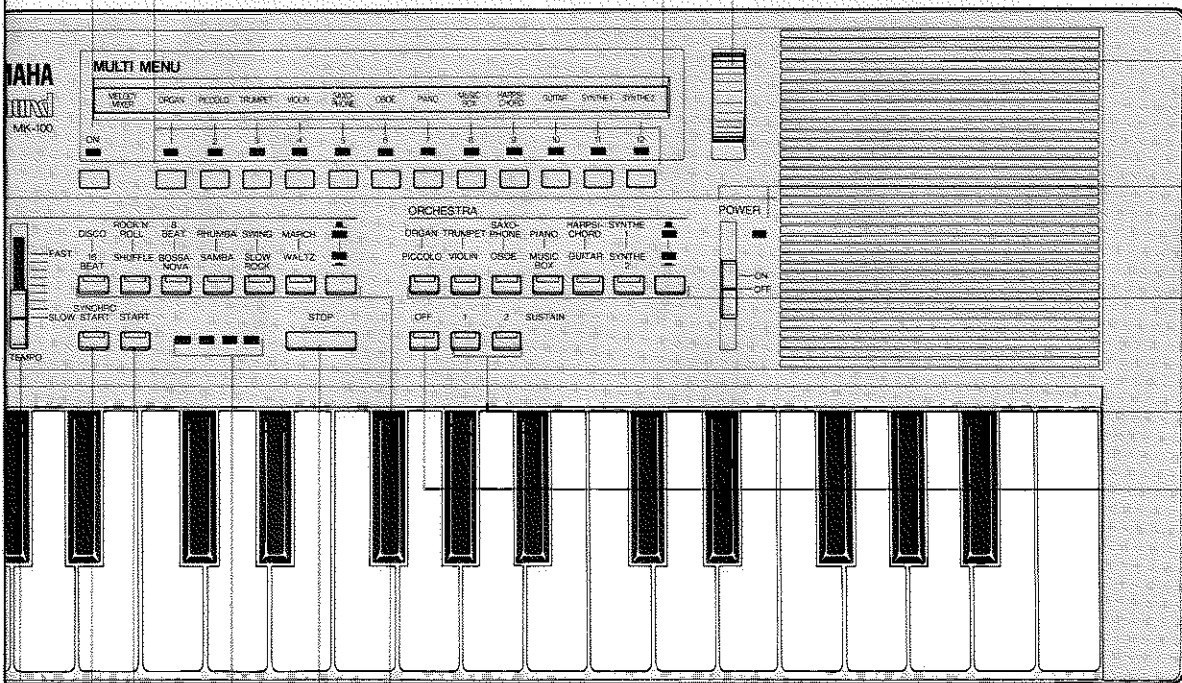
選んだメニュー内容を表示します。

メニューセクター

メニューを選ぶ時に回します。

オクターブ
でさま
の音の
の位置
の弾き
ます。

YAMAHA
MK-100



スピーカー

パワースイッチ/パイロットランプ

パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

オーケストラ (2ページ)

オーケストラ音色セクター

オーケストラ音色を選ぶボタンです。右端の上下セクターで上下いずれかひとつを選択します。

サステイン

音に自然な余韻をつける効果のスイッチです。1・2の2種類が選べます。

サステインオフ

サステインの効果をキャンセルするスイッチです。

リズムセクター

リズムの種類を選ぶボタンです。右端の上下セクターで上下いずれかひとつを選択します。

リズム (3ページ)

リズムストップ [リズムを停止させるボタンです。]

テンポランプ [リズムの速さを示します。]

スタート [リズムをスタートさせるボタンです。]

シンクロスタート [オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。]

くわしくは()内のページをご参照ください。

ごあいさつ

このたびはヤマハポータサウンドMK-100をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

MK-100は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが最新のエレクトロニクス技術を駆使して完成させた、まったく新しいタイプの鍵盤楽器です。

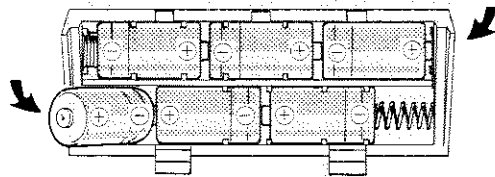
音色をはじめ、リズムやベースのパターンまで自由に創りだせ、さらに演奏の記憶や外部テープへのデジタル録音も可能にした画期的なマルチメニューを搭載。従来のキーボードの概念を打ち破るこの新機能によって、プレイの可能性は無限に拡がりました。また、音質、自動伴奏、オートリズムなどの基本性能も充実し、コンパクトでありながら、充分の音楽表現力を備えています。本書では、MK-100の魅力を充分ご活用いただけるよう、正しい取扱い方を説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

もくじ

	ページ
取扱上の注意	1
オーケストラ	2
リズム	3
オートベースコード	4
・シングルフィンガーコード	4
・フィンガードコード	5
マルチメニュー	6
・マルチメニュー一覧表	7
・メロディーボイスバリエーション1	8
・メロディーボイスバリエーション2	9
・メロディーミキサー	10
・コードボイスバリエーション	11
・ベースボイスバリエーション	11
・カスタムドラマー	12
・カスタムベーシスト	13
・ミュージックプログラマー	16
・テープ(カセットインターフェイス)	19
付属端子とオプション	20
故障と誤まりやすい現象	22
仕様	24
アフターサービスと保証	25

取扱上の注意

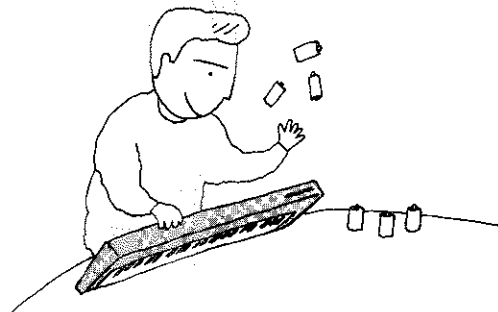
●電池の入れ方



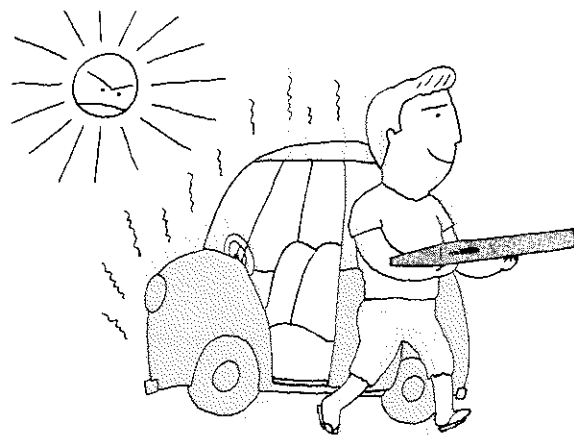
まず、本体裏面にあるケースのふたをとります。単2の乾電池を二列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。電源スイッチを入れたとき、スイッチの上のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなり始めています。すべての電池を交換してください。

★カーバッテリーを使用するときは、専用のカーアダプター（別売）を付属端子に接続します。（接続方法については20ページをご参照ください。）カーアダプターは12V マイナスアース車専用ですので、接続する前に車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。

■ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。電源アダプターも、使わないときは、プラグをぬいておいてください。



■極端に温度が高い場所（60℃以上）に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。また、特に湿度が多い場所に置くことはさけてください。



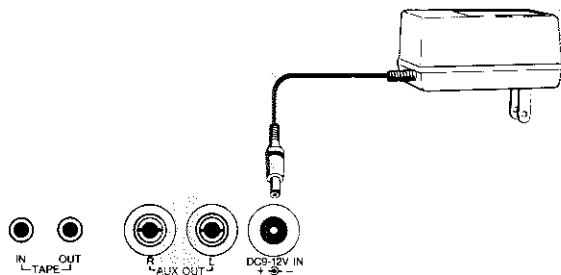
■過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。

■本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よごれが目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

MK-100を末永くお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

■MK-100の電源は、家庭用コンセント、電池、カーバッテリーの3つを使用することができます。

●電源アダプター(PA-1)の接続方法

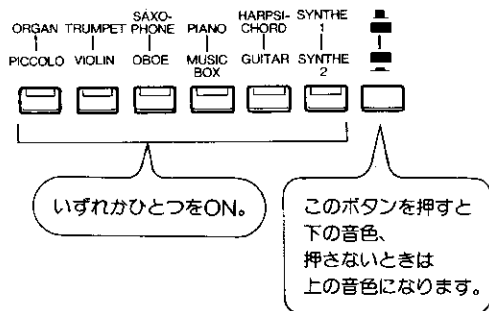


MK-100の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-1は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器ですから、付属端子の一番右側にある[DC9 12V IN]へ接続して電源を供給してください。

★PA-1以外のアダプターは使用しないで下さい。

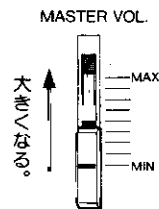
オーケストラ

1. オーケストラの音色セレクターから好きな音色をひとつ ON。



- ★音色セレクターがすべてOFFの場合、オルガンの音色になります。
- ★同時に2つ以上をONすると、右側の音色が優先します。また、いずれかの音色セレクターをONすると前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

2. マスターボリュームで音量を調節。



3. 鍵盤をおさえてみましょう。

選んだ音色が出たことと思います。ほかの音色に変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

4. 効果を加えて。

サステイン

サステインは音に自然な余韻をつける効果です。サステイン1と2は余韻のかかり方が異なります。曲によって使いわけてください。不要な時はOFFにします。

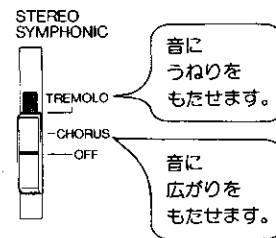
★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	オルガン ピッコロ	トランペット バイオリン	サクソフォン オーボエ	シンセ2
減す音	ピアノ ミュージックボックス	ハーブシコード ギター	シンセ1	

★ミュージックボックスにはあらかじめサステイン効果がかかっていますので、サステインボタンを押しても効果は変わりません。

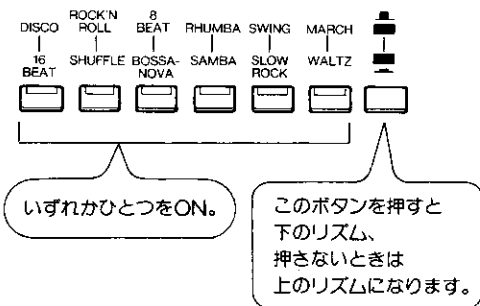
ステレオシンフォニック

レバーを上げると音色がステレオとなって左右のスピーカーから流れます。



リズム

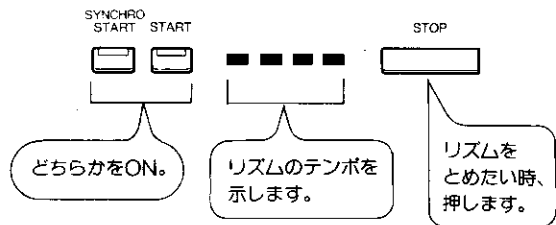
1. リズムセクターから、リズムをひとつ選んでON。



★リズムセクターがすべてOFFの場合、DISCOのリズムになります。

★2つ以上のリズムを同時にONすると、右側のリズムが優先します。また、いずれかのリズムセクターを押すと、前に選んだリズムは自動的にキャンセルされます。

2. スタート、シンクロススタートどちらかをON。



<スタート>

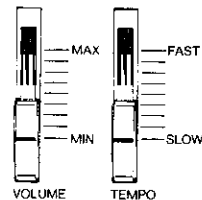
ボタンを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

<シンクロススタート>

オートベースコード用鍵盤(C1~F2[#])を押すと同時に選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。赤いランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。

3. リズムボリュームでリズム音の大きさを調節。

4. テンポレバーでリズムの速さを調節。



5. フィルインで、リズムに変化を。



メロディーの切れ目など必要な時にフィルインを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。

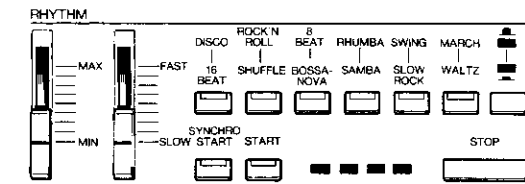
★フィルインを押し続けると変則的なリズムが長く続きます。

★フィルインのパターンは選んだリズムやベース(リズム)バリエーションによって変化します。

オートベース コード

シングルフィンガーコード

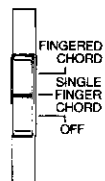
1. リズムをセット。(3ページ参照)



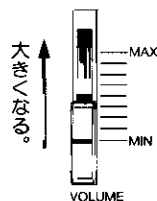
リズムのテンポ
とボリューム
をセット。

シンクロ
スタートを押す。

2. オートベースコードスイッチをシングルフィンガーコードにします。



3. オートベースコードボリュームのレバーを調節。



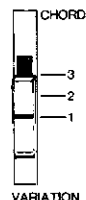
★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。

4. オートベースコード用鍵盤をどれかひとつ押さえます。オートベースコード用鍵盤(C1~F2)を押すとリズムがスタート。和音とベース音がリズムによってできます。

★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押してください。

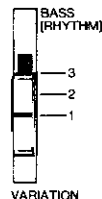
5. コードバリエーションで、コード伴奏のパターンをセレクト。

コードの伴奏パターンと音色が変化します。



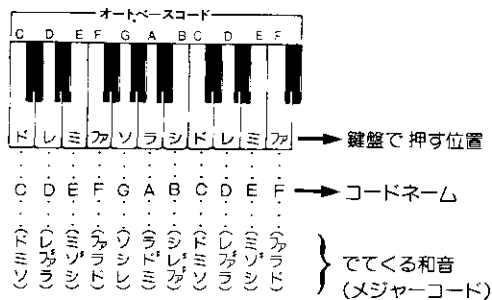
6. ベース(リズム)バリエーションで、ベースとリズムのパターンをセレクト。

ベースとリズムのパターンが変化します。

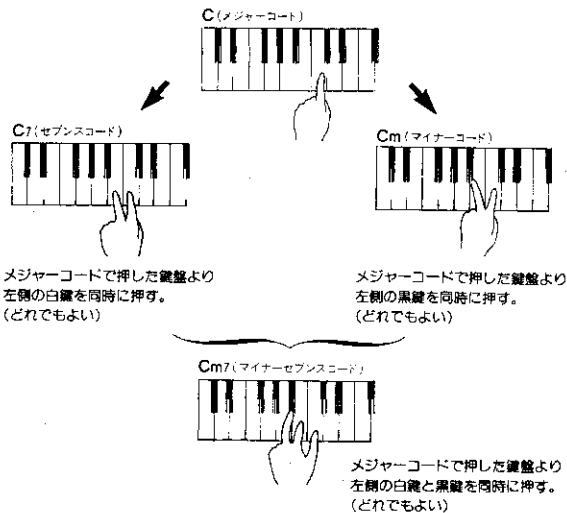


シングルフィンガーコードの出し方

次の図は、オートベースコード用鍵盤を押す位置と、出てくる和音の関係を示したものです。



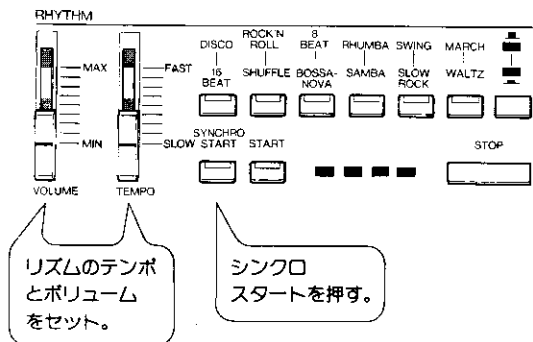
伴奏には例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。



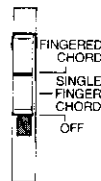
※ #, b がついていたら、音符についている場合と同じように、半音上げる (#) 半音下げる (b) ようにします。

フィンガードコード

1. リズムをセット。(3ページ参照)



2. オートベースコードスイッチをフィンガードコードの位置にします。



3. オートベースコードボリュームのレバーを調節。

★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。

4. オートベースコード用鍵盤で和音を押さえます。

★鍵盤から手を離しても同じ伴奏がくり返されます。コードが変わる時だけ鍵盤を押してください。

★押さえられた和音からコードの種類を判別し、ベースとコードバックギングを自動的にを行います。判別できるコードの種類は次の8種類です。

(例 C, Cm, C7, Cm7, Cmaj7, Cdim, Caug, Cm7-5)

5. コードバリエーションで、コード伴奏のパターンを選択。

コードの伴奏パターンと音色が変化します。

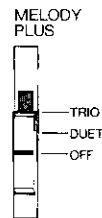
6. ベース(リズム)バリエーションで、ベースとリズムのパターンを選択。

ベースとリズムのパターンが変化します。

メロディープラス

オートベースコードを使用している時、メロディー演奏にコード音の中の1音もしくは2音が自動的に加わり、厚みのある重音演奏ができます。

デュエットの位置では1音、トリオでは2音が加わります。



マルチメニュー

マルチメニューを使用する際には、マルチメニュースイッチをONします。

マルチメニューは、MK-100に内蔵されたマイコンによってアクセスできる、3.2KバイトのRAM領域です。ここは、自分の好きな音色や、リズムパターン、ベースパターンなどを、自由にメモリーさせて使用できるほか、演奏そのものをメモリーすることができます(5日間以上保持可能)。さらに、RAM領域すべての情報を、外部カセットテープなどにセーブしたり、また逆にロードしたりすることができます。

●メロディーボイスバリエーション1・2 (8~10ページ)

プリセットされたオーケストラ音色(12種)のボタンに、自分で独自の音色を設定することができるメニューです。バリエーション1では波形を選択し、バリエーション2ではエンベロープを選択することにより、1376通りの音色が創れます。

●メロディーミキサー (10ページ)

オーケストラの音色に、もうひとつ音色をミックスさせることによって、2台の楽器で演奏しているような効果が得られます。また、ミックスする音色は、プリセットされたオーケストラ音色のほか、メロディーボイスバリエーション1・2によって設定したカスタム音色も可能です。

●コードボイスバリエーション (11ページ)

オートベースコードのコード伴奏の音色を選ぶメニュー。プリセットされたオーケストラ音色のほか、メロディーボイスバリエーション1・2によって設定したカスタム音色も可能です。

●ベースボイスバリエーション (11ページ)

オートベースコードのベース伴奏の音色を選ぶメニュー。プリセットされたオーケストラ音色のほか、メロディーボイスバリエーション1・2によって設定したカスタム音色も可能です。

●カスタムドラマー (12ページ)

オリジナルのリズムパターンを創り、メモリーさせておくメニュー。リズムセレクターひとつにつき1パターンずつ設定可能(合計12種)。メニューパネルの表示にあるバスドラム、スネアドラム、ハイハット(クローズ)、ハイハット(オープン)、ボンゴ、コンガを組み合わせ、2小節パターンを設定します。

●カスタムベーシスト (13ページ)

オリジナルのベースパターンを創り、メモリーさせておくメニュー。リズムセレクターひとつにつき1パターンずつ設定可能(合計12種)。オートベースコード用鍵盤を演奏することで、2小節パターンを設定します。カスタムドラマーと組み合わせることで、イメージどおりのオートベースコードパターンが創れます。

●ミュージックプログラマー (16~18ページ)

メロディーとコードを独立して記憶、再生することができます。また、ベースパターンの一部修正や、メロディー用のチャンネルをベースに転用することも可能。

●テープ (カセットインターフェイス) (19ページ)

テープデッキなどに、付属端子を使って接続することにより、外部テープにマルチメニューすべての情報をデジタル信号で保存できます。また、再び、この情報を本体に戻すこともできます。

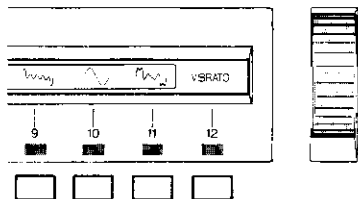
マルチメニュー一覧表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
MELODY VOICE VARI.1	PRESET	CUSTOM	*									VIBRATO	
MELODY VOICE VARI.2	PRESET	CUSTOM	*									*	
MELODY MIXER	ORGAN	PICCOLO	TRUMPET	VIOLIN	SAXO-PHONE	OBOE	PIANO	MUSIC BOX	HARPSI-CHORD	GUITAR	SYNTHE.1	SYNTHE.2	
CHORD VOICE VARI.	ORGAN	PICCOLO	TRUMPET	VIOLIN	SAXO-PHONE	OBOE	PIANO	MUSIC BOX	HARPSI-CHORD	GUITAR	SYNTHE.1	SYNTHE.2	
BASS VOICE VARI.	ORGAN	PICCOLO	TRUMPET	VIOLIN	SAXO-PHONE	OBOE	PIANO	MUSIC BOX	HARPSI-CHORD	GUITAR	SYNTHE.1	SYNTHE.2	
CUSTOM DRUMMER	PRESET	CUSTOM	*	PROGRAM	*	CANCEL							
CUSTOM BASSIST	PRESET	CUSTOM	*	PROGRAM	*	CANCEL	*	*	*	*	*	*	
MUSIC PROGRAMMER	START/NO CHORD	*	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> MELODY/MANUAL BASS OFF RECORD PLAY BACK </div>				MELODY	MANUAL BASS	*	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> CHORD OFF RECORD PLAY BACK </div>			AUTO BASS EDIT
TAPE	SAVE	LOAD	*	STOP	*	*	*	*	*	*	*	LOAD OK	

メロディーボイスバリエーション1

メロディーボイスバリエーション1では、波形を選択することにより、オリジナルの音色を創ります。

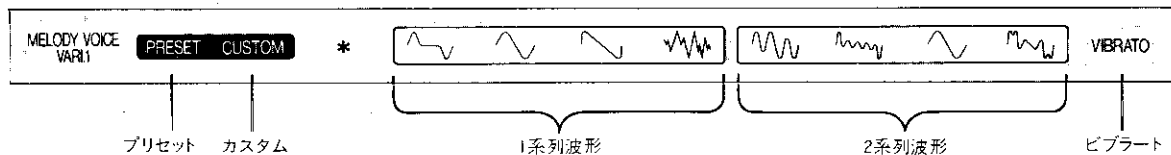
1. メニューセクターでメロディーバリエーション1を選びます。



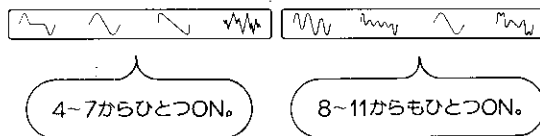
2. オーケストラの音色セクターからひとつ選んでON。



- ★選んだ音色セクター(たとえばオルガン)に創ったカスタム音がセットされます。また、オーケストラ音色セクターにひとつずつ(合計12種類)メモリーさせることができます。



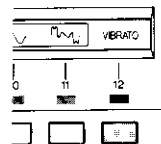
3. 波形の組合わせをセレクト。



MK-100の音色は、2系列の波形、およびエンベロープの組合わせでできています。図のように、2つのグループからひとつずつ波形を選択することにより、音色を創ります。選んだ波形のボタンをもう一度押すと、プリセットされた音色の波形にもどります。

- ★プリセットの波形に戻した時、その波形がパネル表示内であれば、ランプが点灯しますが、プリセット音色の中にはパネル表示にない波形による音色もあり、この場合はいずれのランプも点灯しません。

4. ビブラート<12>を加えてみましょう。

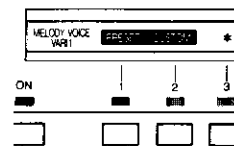


ビブラートは音をこきざみにふるわせて、うるおいをもたらせる効果です。必要な時、右端のビブラートのボタン<12>をON。もう一度押せばキャンセルされます。

- ★鍵盤を押さえて1秒ほどしてからビブラートがかかります。

- ★選んだ波形によっては、ビブラート効果がわかりにくい場合があります。

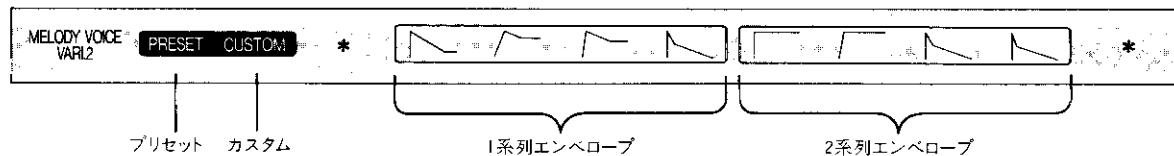
5. プリセット音色とカスタム音色の切換え。



プリセットのボタン<1>を押すと、通常のオーケストラ音色に戻ります。また、カスタムのボタン<2>を押すと、創ったカスタム音色になります。

- ★プリセット、カスタムの切換えは、12個のオーケストラ音色セクターそれぞれについて行います。

- ★いったん設定したカスタム音色は、プリセットにもどしたり、他のメニューに切換えたり、電源を切ってもメモリーされており、いつでも呼び出すことができます。



メロディーボイスバリエーション2

メロディーボイスバリエーション2では、エンベローブを選択することにより、オリジナルの音色を創ります。操作方法は、メロディーボイスバリエーション1と同じです。

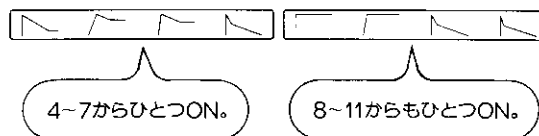
1. メニューセクターで、パネル表示をメロディーボイスバリエーション2にします。

2. オーケストラの音色セクターからひとつ選んでON。



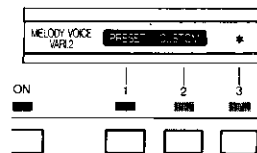
★エンベローブの設定もメロディーボイスバリエーション1と同じく、12個のオーケストラ音色セクターそれぞれについて行うことができます。

3. エンベローブの組合わせをセレクト。



選んだエンベローブのボタンをもう一度押すと、プリセットされたエンベローブにもどります。この時、そのエンベローブがパネル表示にあればランプが点灯しますが、パネル表示にないエンベローブを用いている音色もあり、この場合はいずれのランプも点灯しません。

4. プリセット音色とカスタム音色の切換え。



プリセットのボタン<1>を押すと、通常のオーケストラ音色のエンベローブパターンにもどります。また、カスタムのボタン<2>を押すと、創ったカスタム音色になります。

★プリセットとカスタムの切換えは、12個のオーケストラ音色セクターそれぞれについて行います。

プリセットされている音色の波形とエンベローブ

	波 形		エンベローブ	
	1	2	1	2
オルガン				
ピッコロ			/	/
トランペット	/		/	/
バイオリン		/		/
サキソフォン			/	/
オーボエ	/	/		
ピアノ	/	/		
ミュージックボックス			/	/
ハープシコード		/	/	/
ギター	/		/	/
シンセ1			/	/
シンセ2		/		/

※斜線部はパネル表示以外の波形もしくはエンベローブを使用しています。

MEMO

プリセットされているオーケストラ音色を構成している波形やエンベロープの中には、メロディーボイスバリエーション1・2でメニューパネルに表示されていないものもあります。(4～7または8～11のコントロールボタンをOFFにした時、4～7または8～11のランプが消えた場合は表示されていない波形、エンベロープを使用しています。9ページ一覧表を参照してください。)これを利用することにより、表示されている以外の波形やエンベロープを使用する事も可能となります。

組合わせ例：音色セレクター…バイオリン

波形 (メロディーボイスバリエーション1)



いずれかひとつON (カスタム)

すべてOFF (プリセット)

表示された4種以外の波形を使用することになります。

エンベロープ (メロディーボイスバリエーション2)



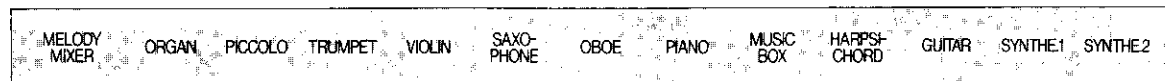
いずれかひとつON (カスタム)

すべてOFF (プリセット)

表示された4種以外のエンベロープを使用することになります。

メロディーミキサー

オーケストラ音色に、メロディーミキサーで選んだ音色をミックスさせることで、2台の楽器で演奏しているような効果を得ることができます。



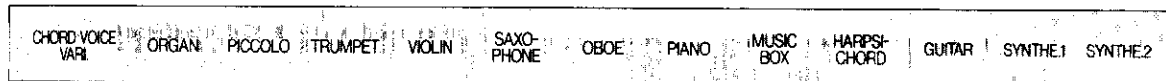
1. メニューセレクターで、パネル表示をメロディーミキサーにします。
2. オーケストラの音色セレクターからひとつ選んでON。
★選んだ音色が、メロディーボイスバリエーション1・2でカスタムにONされていればカスタム音色になります。
3. パネルに表示されている音色<1～12>からひとつ選んでON。
★選んだ音色が、メロディーボイスバリエーション1・2でカスタムにONされていると、カスタム音がミキサーされます。
★もう一度押せばキャンセルされます。

4. 鍵盤を押さえてみましょう。

- ★メロディーミキサーで加える音色は単音です。2つ以上鍵盤を押さえた場合は、最高音にミキサーされます。
- ★同じ音色どうしを組み合わせても、2台の楽器で演奏しているような効果がうまれます。
- ★メロディーミキサーを使用している時、メロディープラスはデュエットのみ使用できます。

コードボイスバリエーション

オートベースコードのコード伴奏音色を選ぶメニューです。



1. メニューセクターで、コードボイスバリエーションを選びます。

2. パネルに表示されている音色(1~12)からひとつ選んでON。

★もう一度押すとキャンセルされます。

3. オートベースコードにより、自動伴奏をスタート。(4~5ページ参照)

★選んだ音色が、メロディーボイスバリエーション1・2でカスタムにONされていると、カスタムの音色でコード伴奏されます。

★すべてのリズムに対して、選択した音色のコード伴奏がつきます。

★コードボイスバリエーションは独立したチャンネルになっているため、コード伴奏の音色をセットした後メロディーボイスバリエーション1・2でその音色を変えても、最初のセットのまま保持されます。ただし、この時コードボイスバリエーションのランプは点灯しません。

ベースボイスバリエーション

オートベースコードのベース伴奏音色を選ぶメニューです。



1. メニューセクターでベースボイスバリエーションを選びます。

2. パネルに表示されている音色(1~12)からひとつ選んでON。

★もう一度押すとキャンセルされます。

3. オートベースコードにより、自動伴奏をスタート。(4~5ページ参照)

★選んだ音色が、メロディーボイスバリエーション1・2でカスタムにONされていると、カスタムの音色でベース伴奏されます。

★すべてのリズムに対して、選択した音色のベース伴奏がつきます。

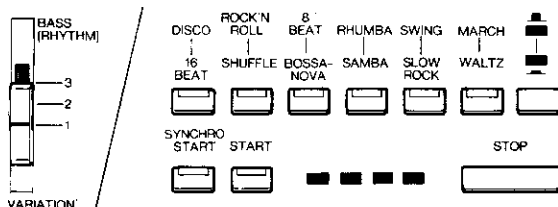
★ベースボイスバリエーションもコードボイスバリエーションと同じく独立したチャンネルとして使用可能です。

カスタムドラマー

オリジナルのリズムパターンを割り、メモリーさせておくメニューです。

1. メニューセクターでカスタムドラマーを選びます。

2. リズムセクターとベース(リズム)バリエーションで、リズムパターンをセレクト。

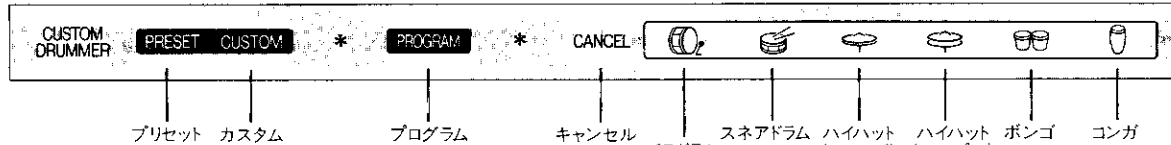
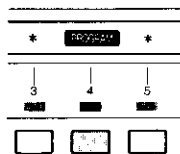


★セレクトしたリズムパターンの位置にメモリーさせることになります。

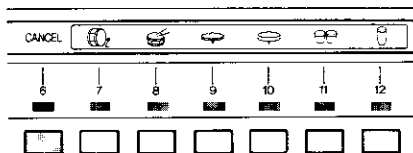
★リズムセクターがすべてOFFの場合、ディスコのリズムにメモリーさせることになります。

3. プログラムのボタン<4>をON。

選んだリズムのパターンが2小節くり返し鳴ります。



4. キャンセルのボタン<6>を押しながら、変えたい打楽器のボタン<7~12>をON。



鳴っているリズムパターンから、その打楽器の音のみが消えます。

★全部の打楽器をキャンセルすると、音は鳴らずに、テンポランプのみがテンポを示します。ただし、全部の打楽器のパターンを変更したい場合でも、最低ひとつは残しておかないと、メモリーさせる時、タイミングを合わせるが大変難しくなります。

5. 好みの打ち方で、消した打楽器のボタンをたたきます。

リアルタイムに打楽器音が鳴りながら2小節のリズムパターンとしてメモリーされます。1小節パターンをメモリーさせたい時も、2小節分のリズムをたたいてください。

まちがえた時は、もう一度キャンセルしてやりなおします。

★16分音符の単位までメモリーします。それ以上細かくたたいても、メモリーしません。

★キャンセルせずに上からかぶせることも可能です。

6. 気に入ったリズムができたなら、リズムのストップボタンをON。

これでメモリーは完了です。12種のリズムセクターボタンすべてに、オリジナルのリズムパターンをメモリーさせることができます。

MEMO

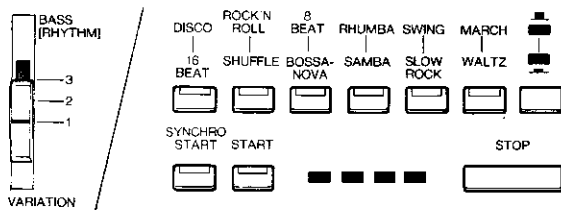
- メモリーさせる時、鉛筆やボールペンのうしろでたたくと、タイミングが合わせやすい。また、リズムに合わせ、軽く何小節分かたたいてウォーミングアップすると、うまくいきます。
- 各リズムセクターに1パターンずつ(合計12種)、メモリーさせることができますが、プログラムしたオリジナルリズムは、その時選択していたベース(リズム)バリエーションの位置にメモリーされます。(後でバリエーションの位置を変更したい時は、位置を選択しなおした後にプログラムボタンを押せば移動させることができます。)
- プリセットされたリズムパターンをもとに、オリジナルパターンを創るシステムのため、ワルツの位置で4拍子、またスウィング・スローロック・シャッフルなど8拍子の位置で8ビートなどは創れません。
- 全部の楽器音を消してしまった時など、プリセットしてあったものからやりなおしたい時、テープロードの中止によってイニシャライズ(初期化)することができます。(19ページ参照)

カスタムベーシスト

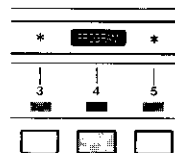
オリジナルのベースパターンを創り、メモリーさせておくメニューです。

1. メニューセクターで、カスタムベーシストを選びます。

2. リズムセクターとベース(リズム)バリエーションで、リズムパターンをセレクト。

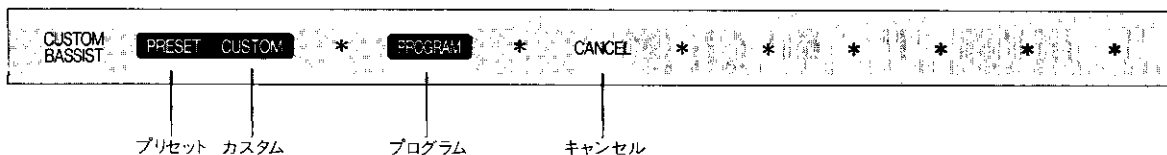


3. プログラムのボタン<4>をON。

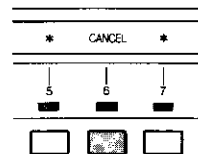


Cメジャーコードの状態、2小節くり返し鳴ります。

★選んだリズムがカスタムドラマーでカスタムにしてあると、メモリーさせたリズムで鳴ります。

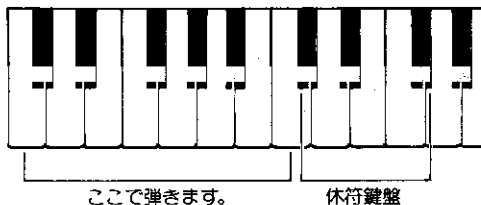


4. キャンセルのボタン<6>をON。



鳴っている伴奏パターンからベース音が消えます。

5. 記憶させたいベースパターンをC1~C2の鍵盤(最低音から1オクターブ)で弾きます。

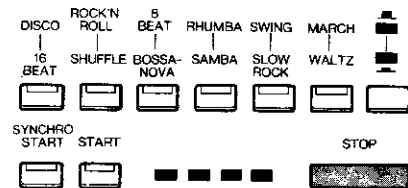


Cメジャーコードの場合の2小節パターンをメモリーさせます。キャンセルしないで上から重ねて修正することもできます。はじめからやり直したい時は、またキャンセルをON。

★C2[♯]-F2[♯]の鍵盤は休符鍵盤です。休符のタイミングを合わせたり、メモリーさせたパターンから1音だけ消したい時に便利。

★根音は常にC1です。C2は根音になりません。

6. 気に入ったベースパターンができたなら、リズムのストップボタンをON。



これでメモリー完了。各リズムセクターに1パターンずつ(合計12種類)メモリーさせることができます。

MEMO

●各リズムセクターに1パターンずつ(合計12種)、メモリーさせることができますが、プログラムしたオリジナルリズムは、その時選択していたベース(リズム)バリエーションの位置にメモリーされます。(後でバリエーションの位置を変更したい時は、位置を選択しなおした後にプログラムボタンを押せば移動させることができます。)

プリセットされたリズムパターン

リズム	ベース(リズム)バリエーション1	ベース(リズム)バリエーション2	ベース(リズム)バリエーション3
DISCO			
16 BEAT			
ROCK'N ROLL			
SHUFFLE			
8 BEAT			
BOSSANOVA			

記入例

.....ハイハット(兼E1コース、O1)オープン
ホンゴ
スネアドラム
コンガ
バスドラム

リズム	ベース(リズム)バリエーション1	ベース(リズム)バリエーション2	ベース(リズム)バリエーション3
RHUMBA			
SAMBA			
SWING			
SLOW ROCK			
MARCH			
WALTZ			

ミュージックプログラマー

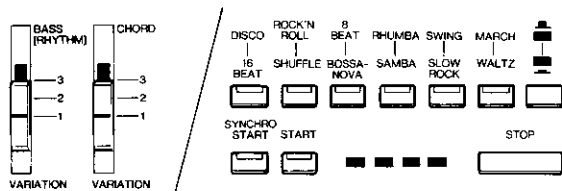
メロディーと伴奏(コード)を、それぞれ独立したチャンネルにメモリーさせ、それらを同時に再生することができます。

コード

■メモリー

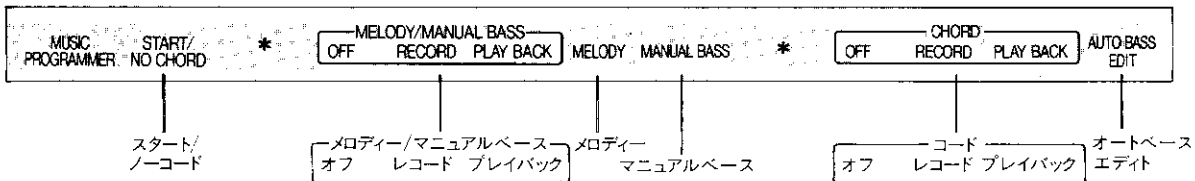
1. メニューセクターで、ミュージックプログラマーを選びます。

2. リズムセクターとベース(リズム)バリエーション、コードバリエーションにより、リズムパターンをセット。

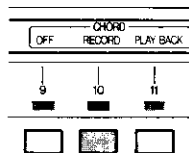


★このセット位置もメモリーされます。

★テンポのみはメモリーされず、再生で調節できます。



3. コード・レコードのボタン<10>をON。



★シングルフィンガーコード、シンクロスタートが、自動的に作動します。フィンガードコードで記憶させたい時は、オートベースコードスイッチをフィンガードコードに。

4. コード演奏をして、記憶させます。

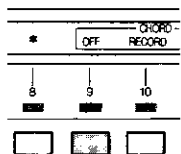
間違えた時は、もう一度はじめからやりなおします。

★コードがない(リズムだけの)小節をつくるには、スタート/ノーコードのボタン<1>を押します。

★フィルインも記憶します。

★コードのメモリー容量は、250コード、もしくは250小節のいずれかを満たすまでです。

5. 記憶が終わったら、コード・オフのボタン<9>をON。



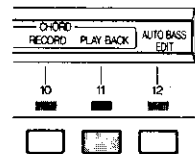
★リズムのストップボタンを押しても停止しません。

★メロディープラスの状態は、コードを記憶させる時にセットしておくことでメモリーされます。

★演奏と同時にメモリーされるのは、リズムボリューム・オートベースコードボリューム・ベース(リズム)バリエーション・リズムセクター・コードバリエーション・メロディープラスの状態です。

■再生

1. コード・プレイバックのボタン<11>をON。



2. スタート/ノーコードのボタン<1>をON。

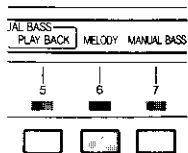
再生がスタート。記憶した量が終わると自動的にストップします。途中でストップする時は、コード・オフのボタン<9>をON。

★前述のように、リズムパターンやバリエーションの位置もメモリーされているため、パネルのスイッチとは無関係に、メモリーされた状態が再生されます。ただし、プレイバックをONした後に、リズムパターンやバリエーションの位置を変更することで、一時的に変えることができます。

メロディー

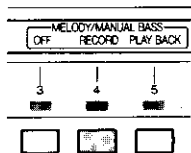
■ メモリー

1. メロディー<6>にランプが点灯していることを確認してください。(点灯していなければメロディー<6>をON。)



2. オーケストラ音色をひとつ選んでON。

3. メロディー/マニュアルベース・レコードのボタン<4>をON。



★シンクロスタートが自動的に作動。

4. スタート/ノーコードのボタン<1>でリズムをスタート。
メロディーを演奏して記憶させます。

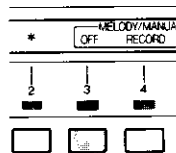
★単音のみしか記憶されません。

★あらかじめメモリーしたコード再生をしながら、メロディーメモリーをした方が合わせやすい。

★オートベースコード用鍵盤を押しても、リズムはスタートします。

★メロディーのメモリー容量は、750音符で、休符も一音符と数えます。

5. 記憶が終わったら、メロディー/マニュアルベース・オフのボタン<3>をON。



★リズムのストップボタンを押しても、リズムは停止しません。

★演奏と同時にメモリーされるのは、リズムセクター・オーケストラ音色セクター・サステインの状態です。リズムセクターは、コードかメロディーのいずれかあとにメモリーさせた時の状態がメモリーされます。

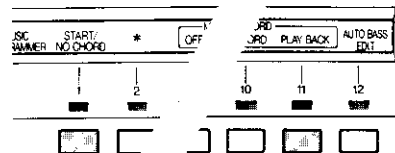
※再生したい時は、メロディー/マニュアルベース・プレイバックのボタン<5>を押し、スタート/ノーコードのボタン<1>をON。

★コードと一緒に再生する場合には、メロディー/マニュアルベースとコード、両方のプレイバックボタンを押し、スタート/ノーコード・ボタンをON。

オートベースエディット

ベースがフィルインを行うような場合、2小節単位でベースパターンを修正することができます。

1. コードの再生をスタート(16ページ参照)。



★コードの再生をスタートさせていない時、オートベースエディットはONされません。

2. ベースのパターンを変えたい小節で、オートベースエディットのボタン<12>をON。

ONした小節と、その前後どちらかの2小節からベース音が消え、その2小節をくり返します。くり返される2小節は、常に図のようにコードメモリースタート時から数えて(奇数小節、偶数小節)の組み合わせになります。



どちらでオートベースエディット ONしても
くり返される2小節は同じ。

くり返される2小節。

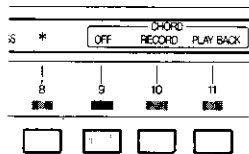
3. リズムに合わせて、メモリーさせたいベースラインを鍵盤で演奏。

★49鍵すべてが使用できますが、低音域で弾いた方がベースらしい感じができます。

★単音のみしか記憶されません。

★コードの記憶量の中で、最高8回(16小節分)オートベースエディットができます。9回目は、オートベースエディットをONしても、ランプは点灯しますが、再生はそのまま先に進みます。ただし、オートベースエディットをした小節は、その後で修正しなおすことができます。

4. 気に入ったベースラインができたなら、コード・オフのボタン<9>をON。



これで、ベースエディットのメモリーは完了。コード再生をすれば変えたベースラインで鳴ります。

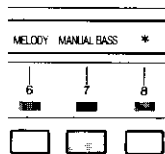
★メロディーをコードと一緒に再生させてもベースエディットをすることができます。

マニュアルベース

ベースが重要なカウンターラインを受けもっているような曲など、オートベースエディットだけでは足りず、全曲をマニュアルベースで記憶させた方がよい場合があります。

1. コード進行を記憶させます。(16ページ参照)

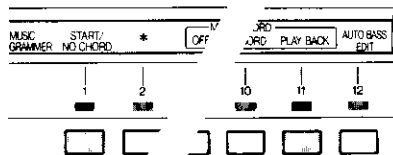
2. マニュアルベース<7>をON。



3. メロディー/マニュアルベースのレコード<4>をON。

4. コードの再生をスタート。

ベース音が消えて、再生されます。



5. 記憶させたいベースラインを演奏。

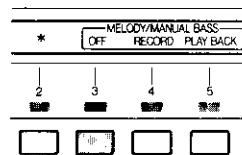
まちがえた時は、もう一度はじめてからやりなおします。

★メロディーとマニュアルベースの両方を記憶させることはできません。

★ベースの音色は、ベースボイスバリエーションで設定することもできます。

★49鍵すべてが使用できますが、低音域で弾いた方がベースらしい感じができます。

6. 記憶が終わったら、メロディー/マニュアルベース・オフのボタン<3>をON。



★リズムのストップボタンを押しても停止しません。

※再生したい時は、メロディー/マニュアルベース・プレイバックのボタン<5>を押し、スタート/ノーコードのボタンをON。

★メロディー<6>がONされていると、プレイバックはONされません。(ランプが点灯しません。)

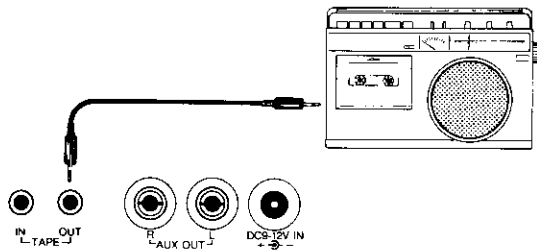
★マニュアルベースの記憶内容をオートベースエディットで変更することはできません。

テープ [カセットインターフェイス]

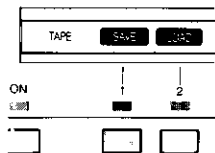
外部テープにマルチメニューすべての情報をデジタル信号で保存したり、また本体に戻したりすることができます。

セーブ (MK100→テープ)

1. メニューセクターで、メニューパネルをテープにします。
2. MK-100の付属端子TAPE OUTと、テープレコーダーのMIC IN端子をコードで接続。

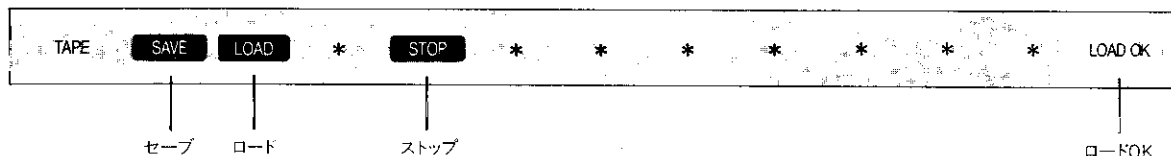


3. メモリーさせるテープを、テープレコーダーにセット。
4. テープレコーダーの録音スイッチをON。
5. セーブのボタン<1>をON。



セーブが完了すると、セーブのランプが消えます。

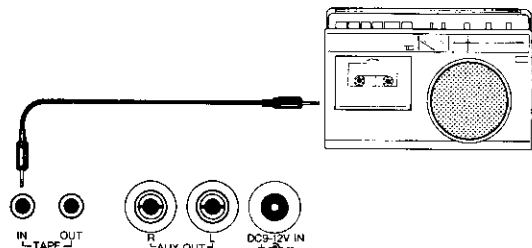
- ★セーブには約80秒かかります。
- ★マルチメニューすべての情報がセーブされます。



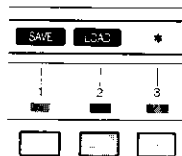
- ★接続が不完全であったり、テープレコーダーとのマッチングが悪い場合、セーブランプが点灯したままになります。この場合、ストップボタン<4>でリセット(復帰)させてください。

ロード (テープ→MK100)

1. MK-100の付属端子TAPE INと、テープレコーダーのHEADPHONES端子をコードで接続。



2. メモリーしたテープをテープレコーダーにセット。
3. ロードのボタン<2>をON。



4. テープレコーダーの再生スイッチをON。
ロードが完了すると、ロードのランプが消え、ロードOK<12>のランプが点灯します。

- ★ロードには約80秒かかります。
- ★マルチメニューにメモリーさせてあった情報は消去されます。
- ★ロードの途中でテープレコーダーの再生をストップすると、マルチメニューにメモリーしたすべての情報が消去され、イニシャライズされます。(お買い上げいただいた時の状態にもどります。)
- ★ロード、セーブしている間、鍵盤を押しても音やリズムは鳴りません。

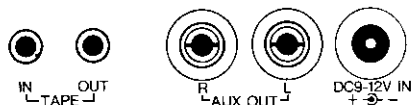
MEMO

テープレコーダー/デッキの機種によっては、セーブ、ロードしにくいものがあります。対応させるテープレコーダー/デッキは、次の条件のものを使用してください。

MIC IN 端子	入力インピーダンス... 10KΩ以上 最少入力レベル... 10mV以下
HEADPHONES 端子	出力インピーダンス... 10Ω以下 出力レベル... 2.0V以上

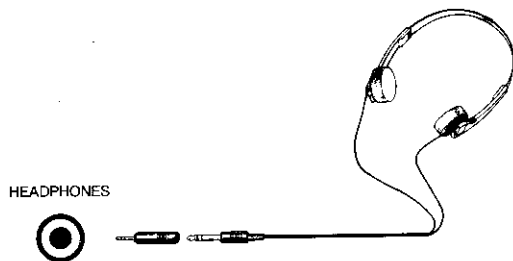
付属端子と オプション

MK-100の本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、MK-100の楽しみはいろいろ広がります。(ヘッドホンは左前にあります。)



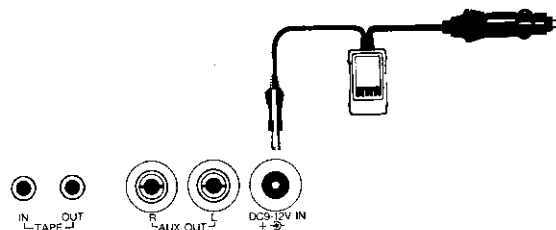
①HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



②DC 9V-12V IN端子

家庭用コンセントやカーバッテリー(シガーライターソケット)から電源をとるときには、この端子を使います。専用のアダプターを接続してください。



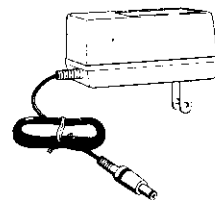
オプション(別売)

●ライトウエイトヘッドホン(YHL-007)



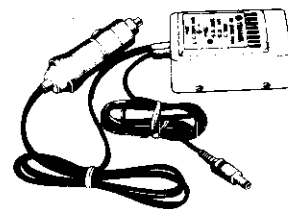
●電源アダプター(PA-1)

AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器です。本体の[DC9V-12V IN]へ電源を供給します。



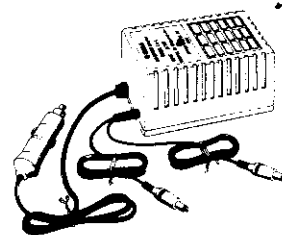
●カーアダプター(CA-1)

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。



●カーアダプター(CA-2)

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。



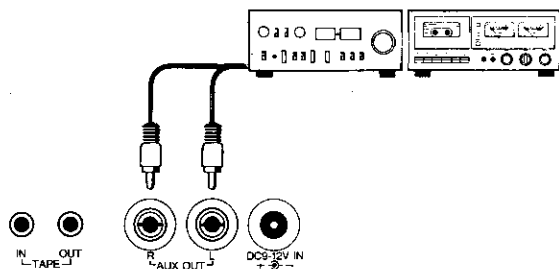
③AUX OUT端子

A. より豊かな音量で。

MK-100は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときは、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。より迫力あるサウンドが楽しめます。

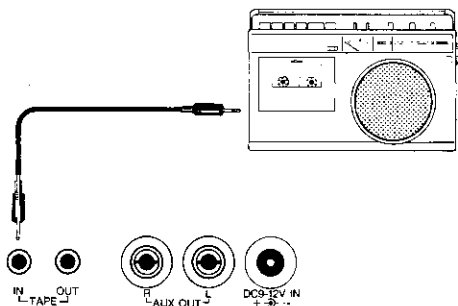
B. 演奏を録音

MK-100の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。



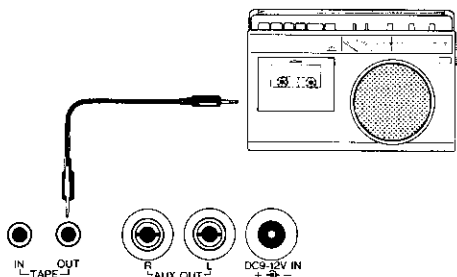
④TAPE IN端子

マルチメニューのテープ(カセットインターフェイス)で、カセットなどにデジタル録音したものをMK-100にロードする時に使用します。テープレコーダー/デッキのヘッドホン端子に接続してください。



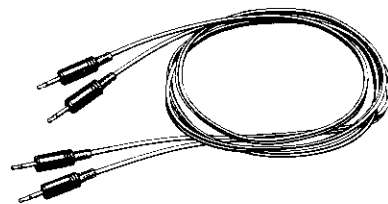
⑤TAPE OUT端子

マルチメニューのテープ(カセットインターフェイス)で、カセットなどにマルチメニューのデータをデジタル録音する時に使用します。テープレコーダー/デッキのMIC IN端子に接続してください。



オプション(別売)

●インターフェイスクーブル[PSC-4]



●専用ケース(S-7)

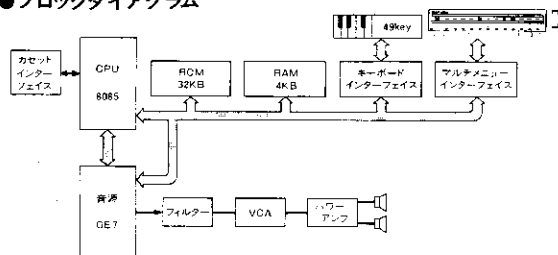
故障と誤まりやすい現象

現象	原因	解決法
音色セクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ①上下セクターを操作していない。 ②オートベースコードを使っている時、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。 ③マルチメニューを使っている時、その音色のメロディーボイスバリエーション1,2がカスタムになっている。 ④マルチメニューを使っている時、メロディーミキサーの楽器音いずれかがONされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①2ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ②オートベースコードを使っている時、オートベースコード用鍵盤部の音色は選んだ音色と関係ありません。 ③メロディーボイスバリエーション1,2をプリセットにしてください。 ④メロディーミキサーでONされているボタンをもういちど押して、キャンセルしてください。
鍵盤を同時に8音押さえても7音しかでない。また、オートベースコードを使っている時、鍵盤を同時に4音押さえても3音しか出ない。	音色は同時に7音までしか出ないようにになっています。また、オートベースコードを使っている時は3音、メロディープラスをデュエットにすると2音、さらにトリオにすると1音しか出ないようにになっています。	先におさえた音が優先します。
リズムの音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ①スタートボタンがどちらも押されていない。 ②シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③リズムボリュームが最小になっている。 ④マルチメニューを使っている時、カスタムドラマーですべての打楽器音をキャンセルしてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③3ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ④12ページの説明をお読みください。
リズムセクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ①上下セクターを操作していない。 ②フィルインが押されている。 ③マルチメニューを使っている時、カスタムドラマーにより、そのリズムがカスタムになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①3ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ②フィルインを押すと、リズムは変化パターンに切りかわります。 ③カスタムドラマーのメニューでプリセットにもどしてください。
音色セクター、またはリズムセクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	音色、リズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	<ul style="list-style-type: none"> ①オートベースコードスイッチがOFFの位置にある。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④リズムがセットされていない。 	4~5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	オートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ボツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
メロディープラスで、デュエットまたはトリオの音が出ない。	①オートベースコードを使用していない。 ②メロディーミキサーを使用している。	①5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ②メロディーミキサーメニューを使用している時には、トリオはできません。
メロディーボイスバリエーション1・2で、波形もしくは、エンベロープを選んで音色が変わらない。	プリセットされている波形もしくはエンベロープと同じものを選んでる。	9ページの一覧表を参照してください。
メロディーミキサー、コードボイスバリエーション、ベースボイスバリエーションで、選んだ音色と違う音色がでる。	選んだ音色が、メロディーボイスバリエーション1・2でカスタムになっている。	音色セクターでその音色を選び、メロディーボイスバリエーション1・2をプリセットにしてください。
カスタムベースリストで、鍵盤を押しても音が出ない。	$C_2 \sim F_2$ の鍵盤で弾いている。(また、メロディー用の鍵盤で弾いてもメモリーしない。)	カスタムベースリストの時、 $C_2 \sim F_2$ は休符鍵盤です。 $C_1 \sim C_2$ で弾いてください。
ミュージックプログラム 演奏どおりのメロディーを記憶しない。 メロディーを記憶しない。 メロディーを記憶させる時、ベース音が鳴らない。	メロディーは単音のみしか記憶されません。	最高音が優先され記憶されます。
	リズムをスタートさせてから演奏をしていない。	17ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
	セレクトスイッチがマニュアルベースになっている。	
コードやメロディーの記憶の時、リズム音が停止しない。	リズムストップボタンを押してもリズムは止まりません。	それぞれのオフのスイッチを押してください。
テープで、ロード途中にストップさせたら、マルチメニューにメモリーさせたものが消去された。	ロード途中に、テープレコーダーの再生を停止させるなど、中止すると、マルチメニューに記憶させたすべての情報が消去されます。	

仕様

●ブロックダイアグラム



●ハードウェア

CPU 8085 (クロック 3.7MHz)

ROM 32Kバイト

RAM 4Kバイト

マルチメニュー部

RAM容量 3.2Kバイト

(C-Mos使用 5日間以上保持可能)

ミュージックプログラマー メロディー部 1500バイト

(1音符2バイト使用、休符も含む)

コード部 500バイト

(1コードまたは1小節で2バイト使用)

テープ (カセットインターフェイス)

転送速度 600bps

●鍵盤

ミニ鍵盤49鍵C1~C5

●付属端子

HEADPHONES JACK

DC9V-12V IN JACK

AUX OUT (L, R) JACK

出力レベル 3dB

TAPE IN JACK

入力レベル 2V以上 インピーダンス470Ω

TAPE OUT JACK

出力レベル 50mV インピーダンス100Ω

●メインアンプ 2W×2

●スピーカー 8cm (8Ω) ×2

●定格電源

DC9V: SUM-2×6

電源アダプター

カーバッテリーアダプター

●消費電力

電源アダプター使用時 6W

電池使用時 2.7W

電池寿命 通常演奏で連続8時間以上

●外装

本体材質 スチロール樹脂

仕上げ アクリルラッカー塗装

W×D×H 622×213×69(mm)

重量3.0kg (電池重量含まず)

●付属品

単2乾電池6コ (SUM-2×6)

●音色スイッチ

オルガン/ピッコロ/トランペット/バイオリン

サクソフォン/オーボエ/ピアノ/ミュージックボックス

ハーブシコード/ギター/シンセ1/シンセ2

●音色コントロール

サステイン スイッチ (オフ、1、2)

●リズムスイッチ

ディスコ/16ビート/ロックンロール/シャッフル/8ビート
ボサノバ/ルンバ/サンバ/スイング/スローロック
マーチ/ワルツ

●リズムコントロール

シンクロススタートスイッチ/スタートスイッチ

テンポボリューム/リズムボリューム/フィルインバー

●オートベースコード

オートベースコード切換えスイッチ

(オフ、シングルフィンガーコード、フィンガードコード)

コードバリエーションスイッチ (1、2、3)

ベース(リズム)バリエーションスイッチ (1、2、3)

オートベースコードボリューム

●メロディープラス

メロディープラス切換えスイッチ (オフ、デュエット、トリオ)

●ステレオシンフォニック

ステレオシンフォニック切換えスイッチ (オフ、コーラス、トレモロ)

●マルチメニュー

メニューセレクター

メロディーボイスバリエーション1

メロディーボイスバリエーション2

メロディーミキサー

コードボイスバリエーション

ベースボイスバリエーション

カスタムドラマー

カスタムベーシスト

ミュージックプログラマー

テープ (カセットインターフェイス)

●トランスポーター

アフターサービス と保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満10年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の10年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

〈お客様ご相談窓口〉

東京電音サービスセンター

☎(044)434-3100
〒211 川崎市中原区木月1184

新潟電音サービスステーション

☎(0252)43-4321
〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーボールビル ヤマハ新潟センター内)

大阪電音サービスセンター

☎(06)877-5262
〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

四国電音サービスステーション

☎(0878)51-7777,22-3045
〒760 高松市丸亀町8-7(高松店内)

名古屋電音サービスセンター

☎(052)231-2432
〒460 名古屋市中区栄1-8-7

〈お預り品修理拠点〉

東京電音サービスデポ

☎(044)434-3100
〒211 川崎市中原区木月1184

大阪電音サービスデポ

☎(06)877-5262
〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

名古屋電音サービスデポ

☎(052)231-7896
〒460 名古屋市中区栄1-8-7

〈本社〉

営業技術課 電音サービスセンター ☎(0534)65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、確かめください。(ご依頼をお受けて点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万が一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないで済みます。)

浜松電音サービスステーション

☎(0534)56-9211
〒432 浜松市東伊場2-14-1

九州電音サービスセンター

☎(092)472-2134
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

広島電音サービスステーション

☎(082)874-3787
〒731 01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3

北海道電音サービスセンター

☎(011)781-3621
〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(0222)96-0249
〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター内)

九州電音サービスデポ

☎(092)472-2134
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

北海道電音サービスデポ

☎(011)781-3621
〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスデポ

☎(0222)96-0249
〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター内)

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL 03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館
TEL 06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL 011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL 0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL 082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
TEL 0534(54)4116

